

PDA 首都圏公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年11月12日（水）15:50-18:20

会場：埼玉県立浦和第一女子高等学校

参加者：生徒22名、教員3名

ジャッジ：PDAスタッフ、名古屋大学、東京農業大学、一橋大学

助成：公益財団法人 日本財団

PDA スタッフによるルール説明、モデルディベートの鑑賞の後、早速最初の実践に取りかかりました。

初めてのディベートという生徒が多く、15分の限られた時間がとても短く感じられたようで、何から始めていけば良いのかと悩みとまどいながらも、ジャッジの助言も参考に少しずつ形にしていきました。実際のスピーチでは緊張からか言葉に詰まる場面もありましたが、相手に「伝えよう」とする姿が多くのテーブルで見られました。続くジャッジからのフィードバックでは、次回の議論の向上に向けて何を意識すれば良いのか、講師の話を真剣に集中する姿がどのテーブルからも見られました。



続く第2ラウンドでは、先ほどのジャッジからのアドバイスを活かして、より素早く準備に取りかかりました。多くの生徒がスピーチシートにたくさんの言葉を書き、事前に相手の意見に対してどのように反論すべきか考える生徒もいました。

1, 2年生が交じたテーブルでは最初のラウンドでは緊張して話す既定時間に満たなかった生徒が、次ラウンドで逆に既定時間を忘れるほど熱心に語る姿はとても生き生きとしていて、内容力、表現力共に明らかに1日で成長したスピーチになりました。



まとめとして、ベストディベーターに選ばれた生徒から以下の感想をいただきました。
「いままでディベートに苦手意識しかありませんでしたが、今回のディベートで薄めれた
と思います。友達と協力し合いながらできたのが大きな理由だと思います」

最後に数学科の有原先生から、18日に日比谷高校にて行われる首都圏交流大会と12月
22日、23日に東京大学にて行われる全国大会の説明がありました。参加意欲のある生徒達
が終了後集い、その日決まった大会に出場する予定のメンバーたちは早速練習に向けての
話し合いをしていました。

生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・最初は難しいと感じていましたが、やっていくうちに何となく流れがつかめて、意見を英語で言う楽しさを感じた。
 - ・ディベートの面白さを感じました。また、このような機会があれば、参加したいです。
 - ・楽しかったです。もう少しラウンド数が多いともっと楽しいと思います。
 - ・チームのメンバーと協力し合ったり、終わった後に他メンバーと話したり、先生のお話をいただけたのが楽しかったです。
 - ・自分の話したことが審査する人にほめられるのが純粋に楽しかった。
 - ・自分の意見を英語で表すことも楽しかったのですが、やはり相手に上手く反論できたときの快感は素晴らしいものでした。授業でもやってみたいです。
 - ・自分の単語力が足りないと思いました。これからはニュース等で知識量を増やしたいです。もっとディベートをやって、英語力を磨きたいです。
- 色々と言いたいことは日本語でたくさんでてるのに、英語に全てを変換できないのが辛かったなと思った。
- ・すごく自分の中でぐだぐだでしたが、自分の英語の力量を測れたので楽しかったです。
- 全然できなかったけれどなんとか伝わる部分もあった。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

〈1回目〉

■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)
■■■■さん(2年)
■■■■さん(2年)

〈2回目〉

■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)
■■■■さん(1年)
■■■■さん(2年)
■■■■さん(2年)